

## 2020年東京大会に向けた訪日プロモーションを実施

2016年リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会を好機と捉え、日本政府観光局 (JNTO) ・観光庁においてリオ大会期間中を主として、開催地であるブラジルや北米、欧州、豪州を中心とした全世界を対象に、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた訪日プロモーションを実施しました。

### 「Tokyo 2020 JAPAN HOUSE」での Visit Japan ブース設置

「Tokyo 2020 JAPAN HOUSE」 内にVisit Japan ブースを設置し、パンフレットの配布や各地の観光資源の動画を放映するなど、日本の観光魅力を発信。  
(8月5日～21日及び9月7日～18日)

リオ大会開催期間中、日本に関する情報発信拠点としてリオデジャネイロ市内に開設された複合機能施設



Visit Japan ブースの様子

### グローバル・メディアによる情報発信

アトランタオリンピック陸上競技 (男子100m、男子4×100mリレー) ・金メダリストであるカナダのドノバン・ベイリー氏を起用し、同氏が日本の歴史・伝統文化等を体験する映像を制作、その映像をBBC ネットワークでのTVCMやインターネットで放映し、日本の観光魅力を発信。  
(オリンピック閉幕日付近の期間及びパラリンピック期間)



ドノバン・ベイリー氏

# 2020年東京大会に向けた訪日プロモーションを実施

2016年リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会を好機と捉え、日本政府観光局 (JNTO) ・観光庁においてリオ大会期間中を主として、開催地であるブラジルや北米、欧州、豪州を中心とした全世界を対象に、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた訪日プロモーションを実施しました。

## ジャパン・オンライン・メディアセンターの開設

メディア向けのライブラリーサイト「ジャパン・オンライン・メディアセンター (JOMC)」を8月18日に開設。会員登録を行うことにより、様々な日本の観光資源の魅力の発信に活用できる著作権フリーで高品質な映像・画像素材を、無料でダウンロードすることが可能。

開設日に「Tokyo 2020 JAPAN HOUSE」で、内外のメディアの方々を対象としたJOMCの開設イベントを実施。

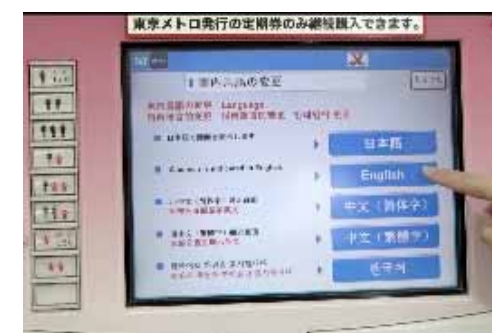


JOMC開設イベントの様子



## 国際ニュース通信社と連携した映像素材提供による情報発信

世界最大級の国際ニュース通信社であるロイターやA P通信と連携し、世界約110の国と地域のメディア (750局以上、約20万人のジャーナリスト) に向けて日本を紹介するニュースコンテンツ映像を制作・発信し、各国での日本に関するニュース掲載促進を図った。



実際に配信された映像素材の一部

(左: Tokyo 2020 JAPAN HOUSE 右: 多言語対応の券売機)